

※サムスン電子(韓国本社)配信のコンテンツを翻訳した内容です。
※使用できる機能は国・地域・OS バージョン、デバイスのモデルなどによって異なります。

<報道関係者各位>

パーソナライズされたAIに対応した 次世代モバイルセキュリティ開始

～ Knox Enhanced Encrypted Protection、更新された Knox Matrix 脅威対応、
量子に強いセキュア Wi-Fi などの新機軸により

次の Samsung Galaxy スマートフォンのプライバシーとユーザーコントロールを強化 ～

サムスン電子（以下、Samsung）は本日、One UI 8 を搭載した近日発売予定の Samsung Galaxy スマートフォンで展開される一連のセキュリティおよびプライバシーに関する新たなアップデートを発表します。これらのアップデートはオンデバイス AI に対する新たな保護を導入し、クロスデバイス脅威検出を拡大。さらに量子耐性暗号化によりネットワークセキュリティを強化することで、急速に進化するデジタル世界において強力で信頼できるモバイル技術を提供するという Samsung のコミットメントを強化するものです。



■AI パーソナライゼーションのための次世代モバイルセキュリティ

この度、Samsung はモバイルセキュリティの最新技術としてパーソナライズされた次世代の AI 搭載機能を保護するために設計された新しい構造「Knox Enhanced Encrypted Protection (KEEP)」※1を発表いたします。KEEP はデバイスの安全なストレージ領域内に暗号化されたアプリ固有のストレージ環境を作成し、各アプリが独自の機密情報のみにアクセスできるようにします。

※1 One UI 8 以降を搭載した Samsung Galaxy スマートフォンおよび Tablet で利用可能です。

Samsung Galaxy のパーソナルデータエンジン (PDE) ^{※2}をサポートする KEEP は Now Brief やギャラリー検索など、ユーザーの個人的なルーチンや好みの保護に役立ちます。これらのインサイトは KEEP によって保護され、Samsung の改ざんされにくいハードウェアセキュリティ環境である「Knox Vault」によってデバイス上に保存されます。その結果、Galaxy AI のシームレスな基盤が実現し、パーソナライズされたインテリジェンスを提供する一方で、データは厳重に保持され、ユーザーの管理下に置かれます。

※2 個人データエンジンは、個人データインテリジェンスメニューがオンの場合に機能します。個人データインテリジェンスメニューをオフにすると、分析されたデータは削除されます。

KEEP のシステムレベルの構造により、Galaxy AI の革新的技術をさらに拡張することが可能です。PDE に加え、Now Brief、スマートな提案、その他ユーザー固有の入力に依存するデバイス上の機能を保護し、プライバシーを損なうことなく、より高度な AI 体験を可能にします。さらに KEEP によって Samsung はモバイルデバイスがバックグラウンドでデータを保護する方法を再定義し、プライバシーを設定から設計指針に組み込みます。

■Knox Matrix でよりスマートで、よりコネクテッドな脅威に対応

AI がエコシステム全体で統合されるにつれ、Samsung は Knox Matrix を筆頭により強力なセキュリティだけでなく、ユーザーにより高い透明性と制御性を提供する保護を進めています。One UI 8 を通じて、Samsung は Knox Matrix を進化させ、接続された Samsung Galaxy デバイスに、より高い防御力と利便性を提供します。デバイスから深刻なリスク（システム操作や ID 偽造など）フラグが立てられた場合、自動的に Samsung アカウントからサインアウトし、クラウド接続サービスへのアクセスを遮断して脅威の拡大を防ぐように設計されています^{※3}。

※3 One UI 8 以降を搭載した Samsung Galaxy スマートフォンおよび Tablet でご利用いただけます。国・地域・デバイスのモデルなどによってご利用いただけない場合があります。

ユーザーは接続している Samsung Galaxy デバイス全体に通知、「デバイスのセキュリティステータス」ページに誘導され、問題を確認して対応することができます。最新のセキュリティステータスが更新されていないデバイスでもイエローレベルの警告が表示されるため、脆弱性が拡大する前に対応することが可能です。

これらのアップデートを組み合わせることで、Samsung Galaxy エコシステムの保護がよりダイナミックで直感的に可視化され、すべての Samsung Galaxy デバイスのユーザーからの信頼性と透明性を維持できるようになります。

■セキュア Wi-Fi、量子耐性暗号化で強化

量子安全セキュリティへのコミットメントを継続するため、Samsung は **Secure Wi-Fi**^{※4} にポスト量子暗号を導入し、ポスト量子拡張データ保護 (EDP) を通じて Samsung Galaxy S25 シリーズで初めて導入された信頼性の高いアプローチを拡張します。Secure Wi-Fi は現在新たな脅威（特に量子コンピューティングの時代に予想される脅威）に対するネットワーク保護を強化するために設計された新しい暗号フレームワーク^{※5} でアップグレードされました。この強化により暗号化接続の中核となる鍵交換プロセスが保護され、公共のネットワーク上でも強固なプライバシーが確保されます。

※4 Secure Wi-Fi は、Android OS 13 以降では月間 1,024MB まで、Android OS 12 以前のバージョンでは月間 250MB までのプロテクションを無料で提供します。利用可能期間の詳細は市場またはネットワークプロバイダーによって異なる場合があります。接続性は適用されるネットワーク環境に依存します。

※5 このアップグレードは、NIST FIPS 203 (ML-KEM) で認定されたポスト量子暗号アルゴリズムを適用します。提供状況は国、地域、OS バージョンによって異なる場合があります。

量子コンピューティングが完全に実現すればデータ保護手法の多くが損なわれる可能性があります。ポスト量子暗号を統合することで、Secure Wi-Fi は、量子技術が成熟した後に暗号化されたデータを解読することを意図して暗号化データを取得する将来の攻撃に耐えられるように構築されています。このアップグレードは Samsung Galaxy デバイスと Samsung のサーバー間のセキュアトンネルを強化し、公共 Wi-Fi のようなリスクの高い環境におけるデータ伝送の完全性を強化します。

この将来対応可能な基盤に加えて Secure Wi-Fi は一連の高度なプライバシー機能を提供します：

- オートプロテクト： カフェ、空港、ホテルなどの公共の場所で自動的に起動し、ユーザーの操作を必要とせずに Wi-Fi 接続を保護します。
- 拡張プライバシー保護 (EPP)： インターネットトラフィックを暗号化し、複数のレイヤーを経由してルーティングします。パケット暗号化と中継を組み合わせることでデバイス情報を匿名化し、追跡を防止します。
- 保護アクティビティ： どのアプリやネットワークが保護され、どれだけのデータが暗号化されたかを時系列で表示することで保護履歴を可視化します。

■セーフガード内蔵の信頼されたプラットフォーム

Samsung は最新技術に加え、Samsung Galaxy 体験を支えるコアプロテクションを強化し続けています。これらの機能はハードウェアとソフトウェアを横断的に保護する多層的なセキュリティ・アプローチを反映しており、ユーザーにはより大きな可視性と制御が提供されます：

- Knox Vault はパスワード、暗証番号、生体認証などの機密情報を物理的に隔離された環境で保護し、メインのオペレーティングシステムが侵害された場合でも保護されます。
- Auto Blocker はデフォルトで防御機能を提供し、不正なアプリのインストールをブロックすることでコマンドベースの攻撃を制限し、潜在的なゼロクリックの脅威によるリスクを軽減します。
- 高度なインテリジェンス設定により AI 機能のオンラインデータ処理をオフにするオプションが提供されるため、個人情報デバイス上で完全に管理されます。
- 強化された盗難防止機能は強盗などのリスクの高い状況でも個人データを保護するのに役立ち、アイデンティティチェックやセキュリティディレイなどのセーフガードを使用して不正アクセスを防止します。

この一連の最新アップデートは、イノベーションとともに進化するモバイルセキュリティに対する Samsung の長年のコミットメントを強化するものです。KEEP によってパーソナライズされた AI のためのオンデバイス・プライバシーを強化し、Knox Matrix の透明性とユーザー制御を拡大し、Secure Wi-Fi に耐量子性保護を導入することで、より未来に対応した Galaxy 体験を提供します。新たなセ

キュリティの課題が継続して出現する中、Samsung は安全策を常に提供することに注力し、次の課題に備えています。

- 「Samsung Galaxy」は Samsung Electronics Co., Ltd の商標または登録商標です。
- その他、記載されている会社名、商品名、サービス名称等は、各社の商標または登録商標です。